

作成日 平成27年3月

サークル名	進め 安心の輪! 和!!!! PartV	発表者	熊沢 鈴子
		リーダー	熊沢 鈴子
部署	外来看護・検査・医事・暮サポ	サブリーダー	福原 真理
活動期間	開始:平成26年9月1日 終了:平成27年2月28日	メンバー	立野・田中・升田・福田 本田・小田・片岡・中原
会合状況	会合回数 7回 1回あたりの会合時間 10分		
所属長/推進メンバー		所見欄	
レビュー担当者			

テーマ

注射室の混雑を解消し,安全な採血室をめざします

テーマ選定理由

注射室は,リユープリン・ゾラデックス注射,造影CTのルート確保,抗生物質点滴後5分間の観察など仕事が増え,廊下の立ち患者や注射室が混雑してきました。今回,注射室の混雑を解消し安心で安全な中央注射室をめざす

現状把握

調査期間 9月8日(月)～12日(金)

- 調査内容
- ・採血室職員数
 - ・採血以外の仕事
 - ・患者が予約時間の何時間前に来院されているか
 - ・採血室の待ち時間

図1 9月8日予約時間までの来院

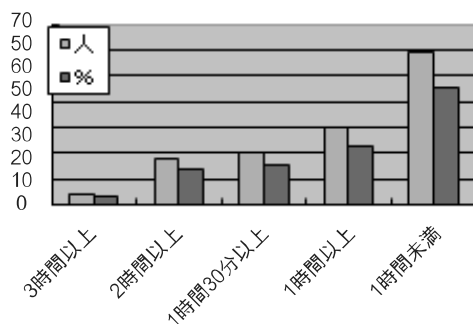


図2 9月9日予約時間までの来院

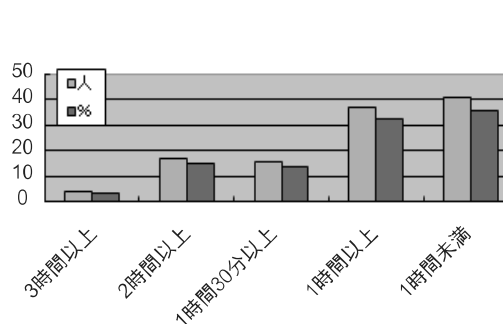


図3 9月8日採血人数と待ち時間(3人+支援5人)

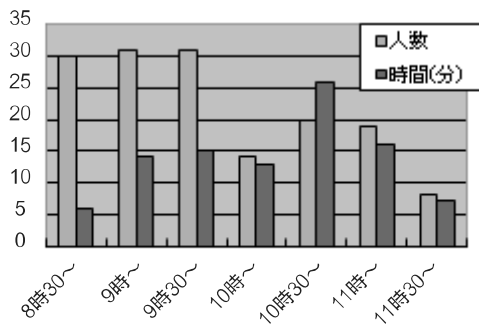


図4 9月9日採血人数と待ち時間(4人+支援5人)

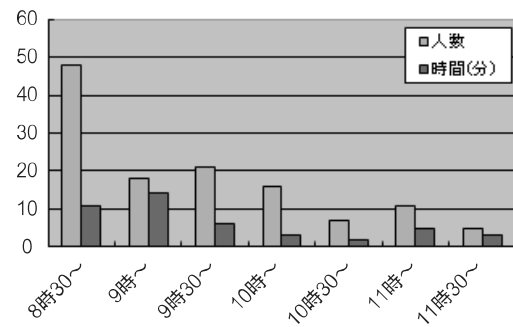


図5 9月8日(採血以外の業務)

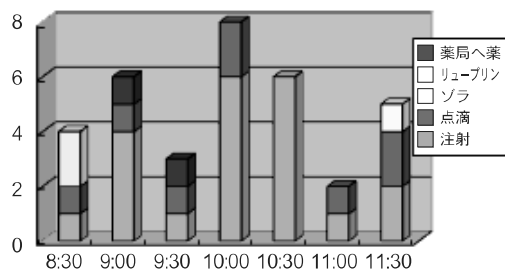


図6 9月9日(採血以外の業務)

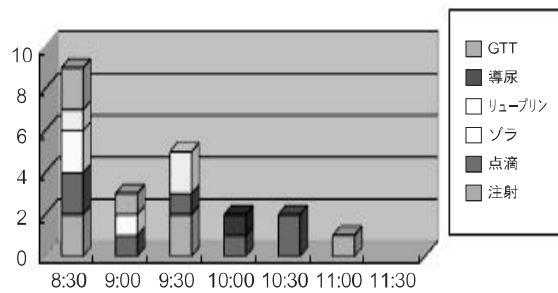


図7 9月10日予約時間までの来院

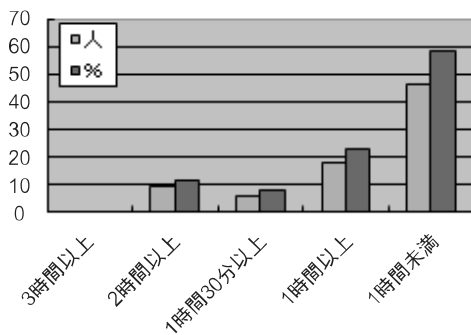


図8 9月11日予約前来院時間

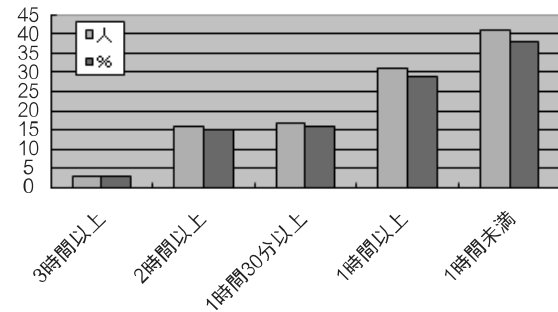


図9 9月10日採血人数と待ち時間(4人+支援1人)

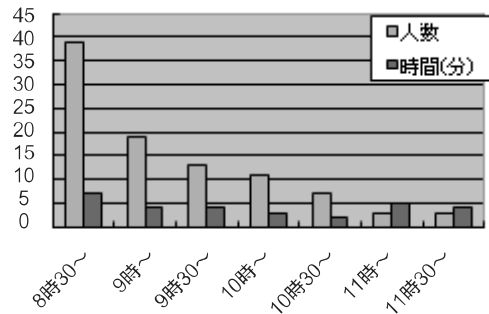


図10 9月11日採血人数と待ち時間(4人+支援2人)

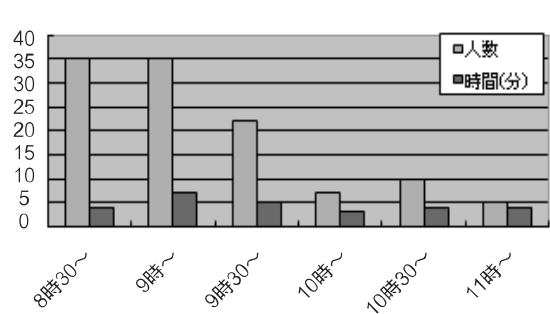


図11 9月10日(採血以外の業務)

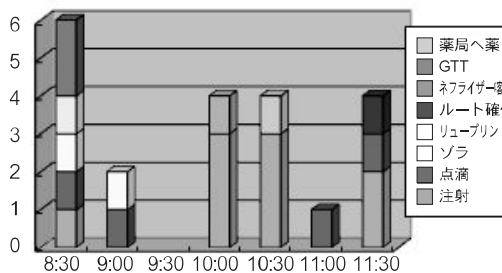


図12 9月11日(採血以外の業務)

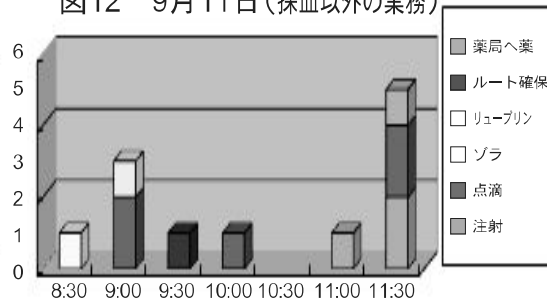


図13 9月12日予約前来院時間

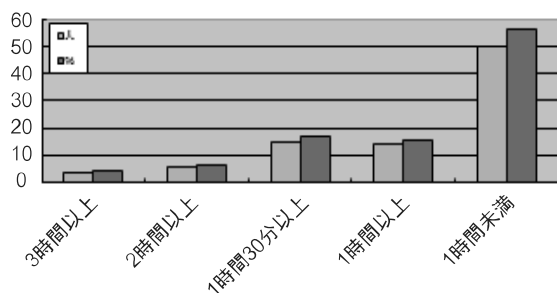


図14 9月12日採血人数と待ち時間(2人+支援4人)

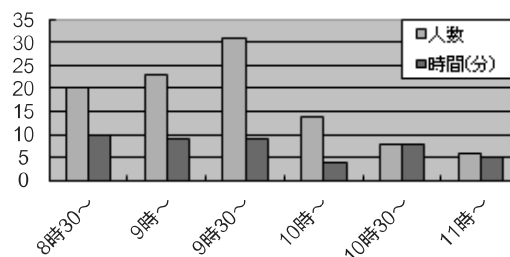
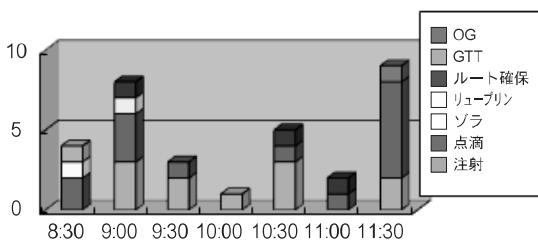


図15 9月12日(採血以外の業務)



調査結果

- ・採血室看護師は4名で採血以外にさまざまな業務を行っていた
- ・採血室看護師が休みの場合,他部署からの支援を得ていた
- ・採血がある患者の85%は,診察予約の1時間30分~2時間前に再来受付機で受付されており,適切な来院時間と思われた
- ・8時30分~10時の間
 - ①採血患者の約7割が採血室で到着確認をされていた
 - ②注射・点滴等の患者は約6割が採血室にこられていた

考察

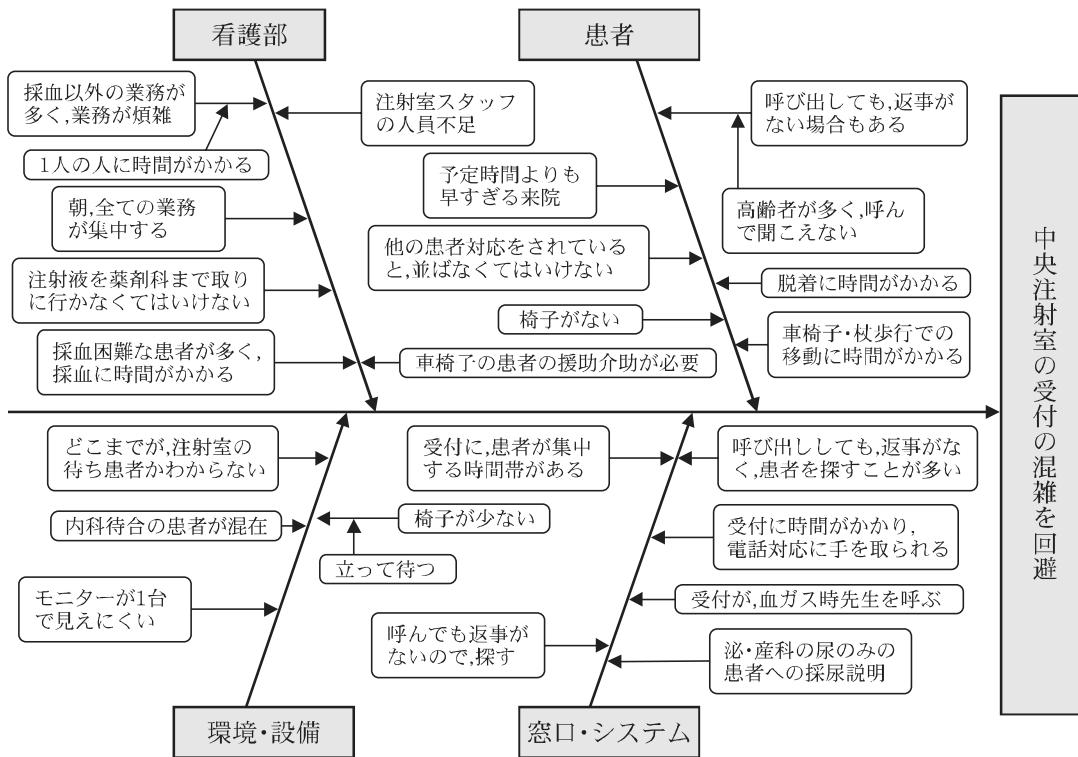
採血,注射,点滴,処置,みんな,いっぺんに注射室に来られるから,混み合う

目標設定

外来中央注射室窓口や注射室の混雑を解消するぞ~

要因解析

図3 特性要因図



対策立案

図4 対策立案マトリックス図

		◎3点 ○2点 △1点 ×0点				
		現実性	持続性	効果	得点	
外来中央注射室の混雑を回避する	看護業務の内容見直し	1次対策	2次対策			
		朝の採血以外の業務を分散させる	○	○	◎	7
		GTTの人数を2名枠にする	○	○	◎	7
	窓口や注射室の混雑を回避	10時まで看護師の人数を増やす	○	○	◎	7
		朝の注射患者来院を遅らせる	△	○	◎	6
		造影CT時の採血管準備と、GTTの採血管準備は前日にする	◎	◎	◎	9
		泌・産科の尿検査のみの患者は、採尿後、各科外来で待っていただく	◎	◎	◎	9
		朝の始業時間を早める	×	×	◎	3
		車椅子の付き添いは中に入れない	◎	◎	○	8
	環境整備	待ち合い場所を明確にする (待ち合い所の椅子40人分しかない)	○	○	○	6
		待合場所のモニターをもう1台追加し、見えやすくする	×	×	○	2

対策実施

何を	いつ	誰が	どこで	どうする
造影時の採血管とGTTの採血管	前日	受付	採血室	採血管ラベルを前日準備しておく
尿だけの患者様は採血室受付に来られないようにする	尿コップを渡す時	泌尿器科と産婦人科	各外来で、尿コップを渡すとき	基本スケジュールに検尿後の流れを貼り、各科外来へ誘導する
リユーブリン注射と採血がある患者	採血時	採血者	採血場所	採血後、検査結果がでるまで1時間あるので、採血室の混雑を見ながら、注射を実施する
車椅子の患者付添	採血時	受付	入室の誘導時	付き添いの方に入口付近で待っていただく
10時までの採血室支援	朝の朝礼	外来師長	外来詰所	支援可能な部署を決定(放射線科、小児科、ケモ室、耳鼻科、検査科)
	混雑時	外来師長		看護副部長に支援依頼(救急室・Op室の看護師に依頼)
椅子が足りないとき	混雑時	受付	電話	医事課が採血室前に長椅子を設置

効果確認

- ・採血室を利用する患者数は毎日違うため、数値としての効果確認は困難であった
- ・各科に協力を求め、朝の採血室受付業務の軽減が行えた
- ・車椅子患者様の付添の方の場所を確保することで、採血室の中の混雑が軽減した
- ・採血室の支援体制を強化するため、外来以外の部署の支援も得られた

まとめと今後の課題

朝10時までに採血・処置・注射等の約7割が集中し、看護師・受付は多種多様な業務をこなしている

- ・中央注射検査受け付けの簡素化(今後、採血室受付発番システム導入希望)
- ・10時までの看護支援の強化

が今後の課題だが、採血室の混雑、待ち時間は、永遠のテーマのため、今後も活動を続け改善する必要がある。